

令和7年度 青森市平和祈念式典

日 時 令和7年7月28日(月) 10時00分から
場 所 アウガ5階 AV多機能ホール

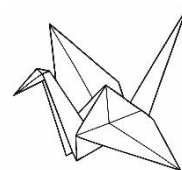
次 第

《 第1部 》

- 1 開 式
- 2 黙 祷
- 3 主催者追悼のことば 青 森 市 長 西 秀 記
- 4 来賓追悼のことば 青 森 県 知 事 宮 下 宗一郎
青森市遺族会会長 千 島 卓
- 5 折り鶴献上

《 第2部 》

- 6 青森空襲を題材にした演劇 「7月28日を知っていますか？」
青森中央高校 演劇部 卒業生
- 7 標語コンクール表彰 小学生の部、中学生の部
- 8 追悼合唱 青森市立南中学校合唱部
曲名：「リフレイン」「逝く夏の歌^い」
- 9 閉 式



令和7年度平和をテーマとした標語コンクール入賞作品 <小学生の部>

賞	学校名	氏名	標語
最優秀賞 (1点)	泉川小学校5年	かさい はる 葛西 晴	青森市 平和を願う 八十年
優秀賞 (2点)	北小学校5年	くどう みなと 工藤 湊斗	ぼくたちは 戦争なんていないよ ずっと平和でいたいんだ
	北小学校6年	さわだ めるあ 澤田 芽春愛	平和の輪 一人一人が つないでく
入 選 (3点)	泉川小学校5年	つぼた きり 坪田 祈莉	平和の芽 愛と優しさで 育てよう
	三内小学校5年	とくさし はるの 徳差 遥乃	戦争がない毎日を大切に 平和に生きよう青森市
	長島小学校6年	やぎさわ ゆづる 八木澤 結弦	やめよう戦争 ぼくたちの未来 友達と仲良くすることから
佳 作 (9点)	泉川小学校6年	やまだ れあ 山田 怜愛	忘れるな 平和への思い つながるよ
	泉川小学校4年	だいぼう そうすけ 大坊 宗輔	青森市 笑顔の絆 忘れずに
	三内小学校6年	おかべ しょうま 岡部 翔馬	ありがとう 昔があるから 今がある 平和な今に感謝をおくろう
	三内西小学校5年	たかはし みづき 高橋 美月	しあわせに 戦争がなく 楽しくすごす それが わたしが思う 平和
	筒井南小学校5年	はまだ ゆの 濱田 有望	笑顔さく 平和な世界 作ろうよ
	長島小学校5年	おさない えみか 長内 咲栞	守ろう平和 静かな夜 子供の成長のために
	浪館小学校4年	ふじた いちか 藤田 いちか	つなぐ思い 世界は平和 笑顔があふれる青森市
	橋本小学校6年	さとう みゆ 佐藤 美佑	人間の 命はそんなに 軽くない
	浪岡野沢小学校4年	たなか あやと 田中 絢都	平和には 夢や希望が あふれてる

令和7年度平和をテーマとした標語コンクール入賞作品 <中学生の部>

賞	学校名	氏名	標語
最優秀賞 (1点)	西中学校3年	きむら みゆ 木村 実弓	忘れないで 平和に生きる 尊さを
優秀賞 (2点)	三内中学校3年	おくざき さへ 奥崎 彩瑛	青森の 空の下から 平和を願う
	北中学校3年	みかみ かずさ 三上 和紗	青空に 紅蓮の炎の惨劇を 忘れず我らは 継いでいく
入 選 (3点)	三内中学校3年	つじむら こいろ 辻村 心彩	私たち 未来へつなぐ 平和の手
	甲田中学校2年	やまだ さら 山田 紗楽	明日へつなぐ平和のバトン 尊い命が輝く青森市
	造道中学校2年	こんどう あかり 近藤 朱莉	繋ごうよ 平和の糸を 未来まで
佳 作 (9点)	三内中学校3年	ふくい はるか 福井 遥香	青い空 争いなどない 平和都市
	三内中学校3年	こがわ りくと 古川 陸翔	未来まで 平和を実現 青森市
	三内中学校3年	あべ こうめ 阿部 小梅	繋げてゆく 平和な日々と 笑顔の輪
	油川中学校3年	いとう ゆい 伊藤 ゆい	植えようよ 平和な世界の 種を今
	北中学校1年	すぎた りゅうま 杉田 龍馬	先人の 平和への願い 思い馳せ 未来へ引き継ぐ 命のバトン
	北中学校2年	くどう ゆりの 工藤 柚璃乃	もう二度と 悲しい思いをしないよう 今こそ 平和を叫ぼうよ
	佃中学校1年	しらはま さや 白濱 咲弥	青い空 人のぬくもりが 平和のしるし
	佃中学校3年	なりた ひな 成田 陽南	炎舞い 夜に消えてく 青森を 語り継ごう 平和の風と
	甲田中学校2年	さとう いろは 佐藤 いろは	いっぱい実るりんごのように 平和を育め 青い森

青森空襲のあった7月28日は「青森市平和の日」

＜旧青森市「平和都市宣言」（平成2年7月28日）＞

青森市は、昭和20年7月28日の大空襲によって、多くの生命と財産を失いました。以来、市民一人ひとりの英知と不断の努力によって復興を成し遂げた今日、更なる発展を目指して、豊かで、住みよい、活力ある、魅力あふれる「うれしい街」へと大きく飛躍しようとしています。

私たちは、先人から受け継いだ「青い空 青い海 青い森」にいだかれた、この郷土を次代に引き継がなければなりません。

私たちは、かけがえのない郷土を、再びあの忌まわしい戦火にさらさせないために、日本国憲法の理念であり、人類共通の念願である世界の恒久平和を願ってやみません。

そして、将来ともに非核三原則が遵守され、あらゆる国の核兵器の廃絶と軍備縮小を切望し、ここに平和都市となることを宣言します。

＜旧浪岡町「非核・平和のまち宣言」（昭和61年9月19日）＞

世界の誰もが平和を愛しています。

世界の恒久平和は人類共通の願いです。

しかるに、今なお、世界において、軍備の拡張は依然として続けられ、世界の各地で武力紛争が絶え間なく続いております。また、米・ソ両大国をはじめとする核兵器の開発配備の増強も激化の一途をたどっており、人類の生存に深刻な脅威を与えています。

私たちは、世界ではじめて原爆の洗礼を受けた国民として再び、ヒロシマ・ナガサキの惨禍を繰り返させてはならない責任を負っています。

また、国連憲章と平和憲法の精神からも、世界の人々と手をつなぎ、すべての核保有国に対し、核兵器の完全廃絶を強く訴えるものです。

私たち、浪岡町民は、非核三原則（つくらず・持たず・持ち込ませず）の堅持と、恒久平和の実現を願い、明るく、住みよい、幸せな生活を守る決意を表明し、ここに、浪岡町を「非核・平和のまち」とすることを宣言します。

＜青森市平和の日条例＞

青森市は、昭和20年7月28日の空襲によって、多くの尊い生命を奪われた。戦争は、その時存在した生命を奪うだけでなく、その後つながれたであろう生命をも奪うものだという事を忘れてはならない。「青森市平和都市宣言」、「非核・平和のまち宣言」にうたわれている平和への思いを、未来を担う子どもたちに引き継いでいくことは我々の責務である。

ここに、青森市平和の日を定め、青森市が戦火にさらされた悲惨な戦争を忘れず、また、空襲があったという歴史的事実を重く受け止め、後世に語り伝え、二度と戦争の惨禍を繰り返さないことを誓い、併せて、世界の恒久平和を願い、平和施策を推進するため、この条例を制定する。

（平和の日）

第1条 青森市平和の日は、7月28日とする。

（平和の日を中心とした事業の実施）

第2条 市は、青森市平和の日を中心として、平和意識の高揚を図るための事業を実施する。

（委任）

第3条 この条例の施行に関し必要な事項は、市長が別に定める。

附 則

（施行期日）

この条例は、公布の日から施行する。

